

新型セレナ用
フルエアロが
ついに完成!



▲フルバンパータイプを装着するセレナのノーマルモデルは、5ナンバーサイズとは思えない存在感を実現している。



スカイライン SKYLINE

▲押し出し感の強いスタイルを手に入れたスカイラインのエアロ。フロントまわりはしっかりとインパルスタイルを踏襲している。



エルグランド ELGRAND

▲後期型用に開発された新たなエアロパーツは、フロントグリルがネット状になり、迫力の中に質感を出しているところがポイント。



デイズ DAYZ

▲どちらかといえば優等生的なスタイルのデイズであっても、インパルの手にかかれればワルなイメージに。その変貌ぶりがなかなかイイ!



TEAM IMPUL RACING LINE

Product lineup



GT-06



NR-01



AURA SX-50



Millennium

軽・コンパクトから
ミニバンセダンまで
足もとを輝かせる
ホイールが勢揃い

もともとインパルはホイールから始まっており、これまでも数々のヒット作を出してきた。今年は新たにGT-06と名付けられた6本スポークを発表した。インパルにしてはシンプルなデザインだという印象だが、実はスポーク部には微妙な凹凸をつくることで、抑揚のあるデザインを構築。エルグランド(上)に装着されたシルバーも新鮮だ。

■文:橋本洋平 ■写真:玉井 充



新型セレナ

クロムメッキ仕上げの 新エアロライン 「J-IMPUL」を発表

エアロパーツを装着しようとすると、エアロ本体に加えて塗装代がかかるのは当たり前。装着するにはトータルで30~50万円くらいかかるのはザラだ。また、納期に時間がかかってしまったり、装着するのはひと苦労で工賃がかさんでしまったりと、なかなかハードルが高かった。

インパルが新たに立ち上げた「J-IMPUL」は、こうしたエアロのネガを払拭して、こういうコンセプトのもとに進出したブランド。エアロ本体はどれもメッキ仕上げで、購入してから塗装する必要がないところがポイントのひとつ。さらにクルマに装着するにあたっては、どれもボルトオンで装着というお手軽なものになっている。もちろん、加工の必要はない。

結果としてエアロは1台あたり10万円前後に納めることに成功したというから驚きだ。オートサロンの会場ではそのコンセプトに対する反響が大きく、カーディーラーからのアプローチがかなりあったという。インパルという信頼できるブランド、そして装着した時のインパクトが大きいことがその要因だろう。

それもそのはず、実際に装着したクルマを見れば、ノーマルとはまるで違う迫力あるスタイルを実現している。たとえばセレナであれば後ろ側は15mmほどスカート状に

張り出されるなど、単にメッキになっただけでは達成できないデザインと造形によるインパクトが感じられるところもJ-IMPULの良いところだ。

現在のラインアップはセレナに加えてエクストレイル、キャラバンといったところだが、これから車種ラインアップは順次拡大する予定。すでにデザインスケッチが仕上がっているノートは発売のカウントダウンに入っているとのこと。来年のオートサロンは10台以上のJ-IMPULを並べたいと意気込んでいた担当者の言葉が印象的だ。

その一方で、これまでと同様の本格的なエアロに対するアプローチも継続中である。これらはフルバンパータイプの豪快なスタイルがウリとなっており、ノーマルとはまるで違う印象を与えてくれるところが興味深い。中でもセレナ用のエアロパーツは、ハイウェイスター用ではなくノーマルモデル用にサイドパネルを制作。ハイウェイスターは3ナンバー化した幅を使って迫力を出す、あえて5ナンバーサイズのノーマルでどこまでイケるかをトライしたところに価値がある。

このように今後はエアロパーツに対してふたつの柱で動いて行くインパルは、日産車に乗る人にとっては目が離せない存在になることは間違いないだろう。

Holiday Auto

01
CUSTOM
INFO
SQUARE+
インフォ・スクエアプラス

IMPUL

ホシノインパル
Newエアロ&
ホイール

■ホシノインパル <http://www.impul.co.jp>



新型セレナ

▲フロントリップ、フォグカバー、そしてリアアンダーの3点が装着されたセレナ。注目はリア下部が15mm延長されているところ。



エクストレイル



キャラバン



ノート

▲残念ながらオートサロンの会場にはその姿を現すことができなかったノートのJ-IMPUL。そのデザインスケッチは他車と同様のスタイルを実現している。登場が楽しみな一台だ。これ以外にも対応車種は拡大していく予定とのこと。